

本時のねらい

・源頼朝と御家人とのあいだに結ばれた主従関係には、どのような特徴があったのかを理解する。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・タブレットPCを活用して動画を視聴し、ポイントをまとめることで学習への理解を定着させる。
・端末を使ってワークシートに考えをまとめ、保存したものをTeamsで共有することを通して、基礎的な情報活用能力の育成につなげる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット ・TV ・Microsoft Teams

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○源義経と弁慶の主従関係を例に中世の武士と鎌倉幕府との関係を考える。	・源義経と弁慶の主従関係の最期を大型テレビに映し出したパワーポイント資料を見ながら考えさせる。
展開 (35分)	○貴族や平氏が行った政治と比べて、将軍と御家人との関係はどのようなものだったのか考える。 ○御恩と奉公は、役職や土地の給与を仲立ちとした保障関係にあったことを説明し、これが平氏の政治との違いであったことを理解する。 ○タブレットPCからTeamsに貼り付けてあるNHK for Schoolに入り、「歴史にドキリ：源頼朝～御恩と奉公」を視聴する。 ○用意したワークシートをTeamsから開き、御恩と奉公の関係図を文字の太さや文字の色などを工夫し、まとめていく。 ○承久の乱での北条政子の演説を聞き、御家人の活躍を知る。	・大型テレビに映し出したパワーポイント資料を見ながら、将軍と御家人の関係を考える。 ・Teamsの中にあるショートカットからNHK for Schoolに入り、各自イヤホンを使って視聴する。 ・確認したい部分は繰り返し視聴してもよいこととする。見終わった生徒からTeamsに貼り付けてあるワークシートを用い、各自のペースでまとめていく。 ・ワークシートをまとめるための例をTVに映し出し、参考にできるようにする。 ・御恩と奉公の関係性を、生徒が自分自身で図を使いまとめることで理解を深める。 ・教員は、学習がスムーズに進んでいるか確認するとともに、完成したファイルを生徒がTeamsのチャンネルに提出できるように操作の説明をする。
まとめ (10分)	○生徒がまとめたワークシートを映し出し、クラスで共有する。	・生徒がまとめたワークシートを大型テレビに映し出す。今回の学習をクラス全体で共有をする。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：各々のペースでNHK for School「歴史にドキリ」を視聴している場面



写真2：「御恩と奉公」についてPC内のワークシートにまとめている場面

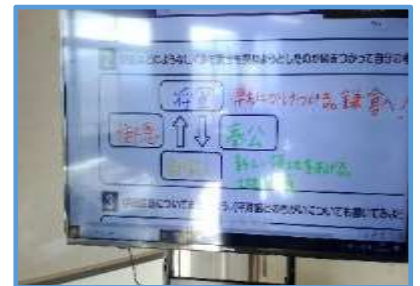


写真3：TVモニターで説明している場面

児童生徒の反応や変容

・タブレットで各自で動画を視聴することで、各自もう一度確認再生もすることができるので、分かりやすいという意見があった。
・1人1台端末を使ってワークシートを提出することで、生徒が自ら調べ、自ら課題を解決するようになっている。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・タッチパネルを使った作業やファイルの保存、送信などを行うことにより、社会科の授業内容とプラスアルファの情報活用能力の育成につなげることができた。